

女性医師や若手医師の着実な成長を支援するため 浜松医科大学や県医師会も密接に連携

女性医師向けの支援センターが
きめ細やかにサポート

これまで見たような医学生対象の制度だけでなく、同県では女性医師の活躍を支援する取り組みにも力を入れている。その主軸となるのが「ふじのくに女性医師支援センター」(次ページ参照)で、県全体の女性医師に対する就業支援・キャリア形成支援を目的に開設された。同センターでは専任医師の谷口千津子氏などがコーディネーターを務め、情報発信を中心とした支援、出産や子育てなどで離職した女性医師への就業相談をはじめ、さまざまなサポートを提供しているのが特色だ。

例えばキャリア相談は専門医に関する問題、新たな知識・手技の取得を目指す生涯教育のほか、子育てや介護などによってキャリア継続が難しいケースの相談などにも対応。浜松医科大学内にある同センターで谷口氏のほか担当コーディネーターがコンサルティンクを行い、本人に適したキャリアプランの作成を支援している。また県内各地への出張相談も可能だ。

復職支援の相談も同様にコンサルティンクが利用でき、加えてスムーズな地域にわかれ、文化や気風もそれぞれ違うようだと鶴田氏(前出)。「地域ごとに自然や食文化も異なりま

職場復帰に向けた研修制度も用意されている。「ワーキングコース」は復職と同時にキャリアアップや専門医取得・

継続も視野に入れたもの。仕事と家庭の両立に配慮した医療施設で働き、本格的な復職を目指していく。また「短期トレーニングコース」は女性医師が安心して復職できるよう、復職検討中の施設の見学、個々の希望に沿ったトレーニングなどを行っている。

このほか復職に役立つ情報として、医療施設の育児支援制度、各自治体のファミリーサポートや保育園などの一覧、各種子育てサービスなどを同センターホームページに掲載している。

県医師会も含め県全体で
医師確保に取り組む

また静岡県医師会では県内の指導医の協力を得て、初期臨床研修医向けの教育研修イベントとして「屋根瓦塾 in Shizuoka」を企画・開催している(次ページ参照)。これにより研修医同士の交流とモチベーションの向上を図ることで、初期研修終了後の県内への定着率アップも期待している。

さらに県でも若手医師教育のため県東部の静岡医療センター(駿東郡)、伊東市民病院(伊東市)にシミュレーションセンターを置き、手技の向上や医療安全の学習などの研修を実施。このようにオール静岡の体制で、女性医師や若手医師のキャリア形成と県内定着への努力を続けている。

静岡県は東部の伊豆、中部の駿河、西部の遠江と歴史的に見ると三つの地

「ふじのくに女性医師支援センター」の主な支援内容

キャリア相談	専門医取得・更新 / 新たな知識・手技の取得
復職に向けた研修	ワーキングコース(浜松医科大学医学部附属病院コース・協力医療施設コース) / 短期トレーニングコース(見学コース・短期研修コース)
子育て情報の提供	保育園・幼稚園・託児所の情報 / 各種子育てサービスの情報
情報発信	シンポジウム・講演会などの開催 / ホームページ

ふじのくに女性医師支援センター
<https://www.fujinokuni-w.jp/>

女性による支援センターが女性医師の 就業支援・キャリア形成をサポート。

浜松医科大学には県の委託事業として、静岡県内の医療施設と連携を取りながら、県内の女性医師の仕事と家庭の両立をサポートする「ふじのくに女性医師支援センター」が設置されており

静岡県医師会は「屋根瓦塾 in Shizuoka」で 若手医師・指導医を応援します。

静岡県は人口が367万人ほどで四国4県(約380万人)に近い状況下、医学部がある大学が1校しかありません。人口10万人当たりの医師数が全国40位(2016年・厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」ということもあり、静岡県医師会では「医師の確保対策」を最重要課題と捉え、さまざまな取り組みを行ってまいりました。

し誘導した臨床研修医を応援するため、当初、全国のカリスマ指導医をお呼びしたこともありましたが、もともと県内にいる優秀な指導医に直接依頼する方が、臨床研修医・指導医ともにモチベーションが上がると考え、一昨年度から「屋根瓦塾 in Shizuoka」という教育研修イベントを企画・開催しています。これは県からの財政的支援を受け、浜松医科大学ほかの協力も得て継続的

は、そうした地域特性も考慮していた



ふじのくに
女性医師支援
センター
専任医師
谷口千津子氏

ました。なお根幹となる女性医師支援の連携体制の構築には、大学診療科講座や県内公的医療機関等に対して女性医師支援担当医師の配置を依頼し、39医療施設に担当者配置できました。さらに大学内では出産後の家庭環境に



静岡県医師会
理事
小林利彦氏

ないイベントになりつつあります。静岡県は東京に比較的近いことから若手医師が関東圏に流れやすい傾向がありますが、静岡県内で優秀な専門医・指導医になることも十分可能です。静岡県出身者だけでなく、名古屋圏・関東圏の若手医師も、気候が温暖で食べ物が美味しい当県で、専門研修ならびに日々の生活をエンジョイしてください。

富士山、駿河湾、浜名湖 など自然豊かな静岡県 都心への移動も便利

東京駅から静岡駅まで約1時間。県内に計6つの東海道新幹線の駅を持つ静岡県は、エリアごとに多彩な自然と文化、食の魅力が満載。各地に富士山の絶景ポイントも。

「東部・伊豆エリア」 城ヶ崎海岸

伊東市街の南に位置するリアス式海岸。80以上の岬、20以上の岩礁が点在し、原生林が続く台地など見どころ満載。



● 河津桜

大きくピンク色の花が通常2月上旬に開花、3月上旬には満開に。同時期に行われる「河津桜まつり」は100万人が訪れる。

「富士エリア」 朝霧高原

富士山の西麓の高原で、樹木が少なくカヤの草原が広がる。全国有数の酪農地帯で富士山を背景に牧歌的な風景も見られる。



● 旧東海道

東海道の金谷宿から牧之原まで敷かれた石畳を、住民などの寄付で一部復元。菊川坂の一部には江戸時代後期の石畳が残る。

「中部エリア」 駿府城跡・向公園

静岡市の中心にあり、晩年の徳川家康が暮らした駿府城跡。現在は二重の堀と美しい石垣のある公園として市民に開放。

● 牧之原大茶園

大井川下流の台地に広がる巨大な茶園。生産量は県内の約40%を占める。茶園の一角にある牧之原公園からの眺望は抜群。



「西部エリア」 中田島砂丘

遠州灘に臨む砂丘は起伏がさほどなく、風紋が遠くまで見渡せる。毎年5月の「浜松まつり」では凧あげ合戦の舞台に。

● 浜名湖

浜松市の西にあり、うなぎなどの養殖も盛ん。近くに温泉やレジャー施設も点在し、年間を通して楽しめる人気スポット。

